

# ウチヤマタイムズ

発行日：平成28年1月20日／編集：岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里／監修：内山文治・吉岡信之  
発行所：(株)ウチヤマホールディングス／〒802-0044北九州市小倉北区熊本2丁目10-10／電話：093-551-0002

2016



# かんてきや

[プロンポン店]

No.47/1 Soi Sukhumvit39 Sukhumvit Road,  
Klongton-Nua,Wattana,Bangkok

日本語電話予約

**061-503-0203**



かんてきやプロンポン店が十二月二十二日にオープンしました。バンコクで三号店となります。全席二三〇席の大型店です。近隣は、日本人の駐在の家族が多く住んでいる地区でもあります。平日は駐在の方達週末は駐在の家族利用となっています。日本人のお客様が多く、バンコクでも日本と同じクオリティを求められます。笑顔と明るく元気な挨拶、美味しい料理とおもてなしの心で一人一人のお客様を大切にていきます。タイのスタッフもみんな元気に頑張っています。

全員が同じ価値観を共有してバンコクに来たならかんてきやと言われる店にしていきます。

# かんてきや プロンポン店 オープン

森常務よりごあいさつ

かんてきやプロンポン店が十二月二十二日にオープンしました。バンコクで三号店となります。全席二三〇席の大型店です。

近隣は、日本人の駐在の家族が多く住んでいます。平日は駐在の方達週末は駐在の家族利用となっています。日本人のお客様が多く、バンコクでも日本と同じクオリティを求められます。

笑顔と明るく元気な挨拶、美味しい料理とおもてなしの心で一人一人のお客様を大切にていきます。タイのスタッフもみんな元気に頑張っています。

さわやか行橋館では十二月十六日から三階フロアにて週休三日制での勤務体制を試験的に導入しています。

週休三日制を導入したことにより一日八時間の勤務から十時間へ変更となっています。まだ始まつたばかりですので十時間勤務に体が慣れていないかつたり、改善が必要な部分もあります。

現場の業務においては夜勤業務が時間の拘束時間が長く、負担が大きい状況がありました。また休みが増えたことにより、今後、仕事だけでなくプライベート面が充実できる職員も増えるのではないかとの期待感もあります。

これからも現場職員が働きやすい環境づくりに力を入れておこなってまいります。より良い職場づくりをすることによってご入居者様にもよりよいサービスをお届けできるようになります。



今回の試みに関して、マスコミ関係の取材も多くありました。写真は、TBSのニュース番組「ニュース23」の取材風景です。

(副施設長・田守 竜也)

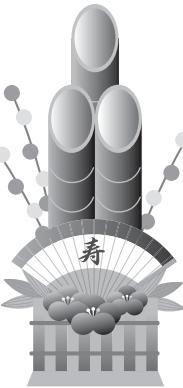
# 3週休 日制

スタート!!



さわやか俱楽部





**2位** **さわやか  
新門司館**  
[福岡県北九州市]

**梶原 和典 施設長**

この度、門松コンクールにて二位という評価を戴き職員一同大変喜んでおります。毎年門松作りの得意な利用者様にご協力を頂いておりましたが、今年はその方が体調を崩され門松は作れないとの事で大変困っておりました。私は門松を作るのが初めてでしたので、副施設長や入居者様の皆様にアドバイスとご協力を頂きながら完成することができました。ご来館頂いたご家族の皆様や関係先の皆様にもお褒めの言葉を頂戴し、新門司館にとって良い新年が迎えられたのではと思います。

今後は、サービスやケアで高評価を頂ける様に職員一同、精進して参りたいと思います。資材を提供して頂きました職員のご家族の方々、ご協力頂いた利用者様、新門司館職員のみんなに心から感謝します。とても光栄な評価を頂き、ありがとうございます。



**3位** **グループホーム  
なすまち**  
[栃木県那須郡]

**根岸 一人 ホーム長**

グループホームなすまちは、平成二十七年四月に開所し、初めてのお正月を迎えることが出来ました。今回の門松は、昨年の暮れにご入居者様、ご家族様、近隣の方々にご協力をいただき、作成することができました。

竹はご近所様の竹林から頂いた、立派な孟宗竹を使わせていただきました。彩を飾った松や南天、熊笹は、職員が集めりました。高さ2メートル、幅1.5メートルの立派な門松を作成することができました。協力して下さった方々に本当に感謝です。

お陰様で、平成二十八年を迎えることができ、初詣、誕生日会などを開催することができました。お正月は多くのご家族が来館され、門松をバックに写真を撮って頂き、とても嬉しかったです。

——グループホームなすまちのご入居者様よりひとこと——



**吉中 和枝さま**

第三位と聞いてびっくりしました。私たちの作った門松が評価されてとても嬉しかったです。来年は優勝を目指して頑張ります。

さわやか倶楽部 施設対抗

# 門松コンクール 2016

毎年恒例!門松コンクールTOP3を発表いたします!



**1位** **さわやか  
いわつき館**  
[埼玉県さいたま市]

**佐藤 寛副施設長**



この度は門松コンクール優勝という大変名誉な賞を頂き、職員はもとより入居者様も大変喜ばれています。本当にありがとうございます。前年度が惜しくも準優勝という事で今年こそはと職員一同、一ヶ月ほど前から木村看護師をリーダーとし構想を練っていました。

その中で大切にしてきたのが、二つあります。一つがやはり入居者様に出来るだけ多くの手伝いをして頂きそれをしっかりと形として見せていく事。いわつき館のオリジナリティー溢れる門松にすることの二点です。木に色とりどりの花が咲き、まさに迎春を祝うかのような所は全て入居者様に一つ一つ花を折って頂き木に飾る所までやって頂きました。

現に出来上がった門松を見て感嘆の声を上げる方や笑顔を見せ喜ばれる入居者様やご家族様を見ますととても心が温かくなりました。会社が大切にしている「生きがい作り」とはまさしくこの事なんだと実感できた門松づくりでもありました。また職員間でも一つの取り組みに対して全員で取り組みそれが評価されるというのは皆の自信にも繋がりますし、また一つ絆が強まった様に感じています。

新年早々門松コンクール優勝という素晴らしいスタートが切れましたのでこの事を糧に今年一年、入居者様の為さわやかいわつき館更なる進化をしていきます。本当にありがとうございます。



**高木 良司さま**



作って良かった。みんなに喜んでもらえて、いい年を迎えられました。

STAR  
No.95

光り輝くスタッフをご紹介!

## キラリ★一等星

twinkle!  
twinkle!

### 青木 大輔さん 26歳

放課後等ディサービス・さわやか愛の家／管理者

障がい福祉の分野に携わらせていただいて5年、心機一転新しい職場で働きたいと考えていたときにウチヤマグループの求人広告を目にして、生まれ育った街、北九州にお住いの障がいをお持ちの子供さん、そのご家族様のお役に立ちたい、その一心で応募させていただきました。

事業所の立ち上げは未経験で、初めは不安もありましたが、一緒に働く仲間や近隣の施設、本社の皆様、そして関係機関の皆様…本当にたくさんの方からお力添えをいただき、平成27年11月1日に放課後等ディサービス「さわやか愛の家」を開所することができました。この場をお借りしまして、再度、皆様に感謝申し上げます。

ウチヤマグループの基本理念である「慈愛の心・尊厳を守る・お客様第一主義」のもと、子供たちが気兼ねなく楽しく過ごせ

る、ご家族様に安心していただける、地域に貢献できる事業所づくりを目指し、日々、仲間たちと力を合わせ、切磋琢磨しながら業務に励んでいます。おかげさまで愛の家に来てくださる子供さんも少しずつではありますが、着実に増え、毎日子供さんの笑顔に元気をいただいています。

ウチヤマグループでは「さわやか愛の家」をはじめ、放課後等ディサービス年間5施設開所を目標に今後も事業展開していきます。平成28年4月には二号館である「さわやか愛の家もじ館」が北九州市門司区大里東二丁目に開所します。「さわやか愛の家」はウチヤマグループの障がい福祉事業“第一号”です。今後、展開していく事業所の良い手本となる責任があります。その責任を胸に今後も頑張ります！

産んでくれて、  
育ってくれて、ありがとう。

両親へ、感謝の  
気持ちを込めて…



### 北原 伊織さん

さわやか立花式番館  
福岡県福岡市

小さいときからお父さん、お母さんにとっても大切にしてもらっていたのをよく覚えています。小さいころは外で遊ぶのが好きで、家にはほとんどいない子供でした。わたしが小学校のときに急に体調を崩し学校を休んだ時も優しく看病してくれましたね。最近、家族の有り難さを強く感じます。

仕事を通じて入居者様へ支援させて頂く中で、多くのことを勉強させて頂いています。「いつもありがとうございます。」と入居者様から声を掛けて頂くこともとても嬉しく感じ、仕事のやりがいにつながっています。

「仕事を通じて、心を磨くこと。」それは、私が家族から学んだことです。また、さわやか俱楽部へ入社し、使命感を持って仕事に向き合うことで仕事が楽しくなることも学びました。一人前と認めてもらえるよう今後も全力で学び、仕事に取組みます。

人の役に立つことの出来る人財へと成長することが両親、家族への恩返しになればと考えています。

最後になりますが、「おとうさん・おかあさん産んでくれて育ってくれてありがとうございます。」

## おたよりのご紹介

### コロッケ俱楽部 宇部店

拝啓、御社益々のご繁栄の段、お喜び申し上げます。

さて、私共港歌謡教室は、2か月に一度の割合で貴社の宇部店で月例会を催させて頂いています。23日は祝日で靴入れがいっぱいになるほどのお客様がいらっしゃいましたが、私共の為、山根店長様を始め福田様(とっても美味しいお料理を作って下さい)うすい様(お若い方なのにとってもよくお心くばりをして下さる方です)スタッフの方々の心地よい気配り数々、無理難題を言っても気持ち良く対応して下さいます。何分にも平均年令20歳×○才の集いでし、祝日と重なり本当に大変だったと思うのですが、私共仲間が一同に顔を合わせ事がないで、とってもとっても楽しくて又有意義な一日で今年を終わらせる事が出来ました。これも店長様を始めスタッフの方々のお陰様だと先生を始め教室一同、感謝しております。宇部店の方々へお伝え下さいませ。接客態度、料理提供のタイミング等々の教育が全てのスタッフの方々に徹底をしておられる事、感服致しております。かしこ(港歌謡教室・月例会世話係／瀬戸山 敦子様より)

### さわやか大畠壱番館

各先生さま方へ

此の一年を振り返ってさわやか大畠壱番館の生活もつつがなくすごさしてもらって、岩崎は幸せです。まず岩崎の性格から申し上げますと指導先生方および、ヘルパーさん方などから見ましてもわかりますが学校へ行っておらず、幼少より日本は各国と戦争に明け暮れている時でした。終戦が昭和20年8月です。

岩崎が15歳日本は広島、長崎など原爆をアメリカより落とされて何十万の国民の死により終わったときです。激情のきふくがはげしそぎてすぐ頭に血がのぼりかっとなります。何事にも冷静に考えればと一呼吸おく事ができずに口から出まかせを申します。相手の立場を考えない所があり浅はかな人間で世の中をわたって来てこれまでずいぶんの人に迷惑を掛けて来ています。

しかしさわやか俱楽部という施設に入つてから少しは物を考えるようになりました。此れも重ねた年と先生方の広い心のたまものです。此の一年間、別府の「海たまご」などもつれていってもらい幸運でした。心に残ります。日誌に書き入れています。今年もあとわずか、モチもつかしてもらったし言う事はない、厄落としもすんだと思います。昨日は大変失礼な事を口走りお許しください。来年は「サル年」なので1月より頑張ります。(ご入居者・岩崎 豊明様より)



## 初詣に行きました

初詣に行きました。皆様、とても楽しみにされております。今年も健康でありますように!新年の願掛けをしました。とても厳かな雰囲気で身が引き締まります。

このあと、おみくじをひきました。いつもお世話になっています仲宿さんです。ここでもお参りさせて頂きました。皆様に今年もよい事がありますように。(金井 有三)



## 獅子舞が… やってきました

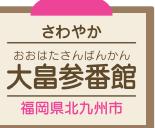


明けましておめでとうございます、さわやか桜館です。いよいよ2016年が始まりました。元旦ですので、桜館では各フロアに獅子舞一行が来てくれました。すぐ近くに獅子舞が。獅子舞に頭をかまれちゃいました。

おお～!ようこそ獅子舞。元旦の獅子舞に皆様、大変喜ばれていました。今年も桜館をよろしくお願ひします。(石橋 早苗)



みんなのお便り集まれ～!



## 八坂神社宵ゑびす祭 どんと焼き!



1月9日に小倉北区城内八坂神社宵ゑびす祭どんと焼きに、御利用者様と一緒に、施設のしめ縄を持って行きました。その時の様子をお伝えしたいと思います。

手水舎で御利用者様と一緒に柄杓でくった水で手や口を漱ぎ清めました。正月が無事に終わり参拝出来る事を感謝しつつ願い事を伝えました。



納礼所にしめ縄を持って行きました。たくさんの方が正月の飾り物やしめ縄を置いていました。帰る時は、鳥居をくぐってから、鳥居に向かい直して再度一札して終わりました。



どんと焼きは、無病息災を祈り良い年を迎えます。正月の松飾り、しめ縄などを1箇所に積み上げて燃やすと言う行事です。八坂神社宵ゑびす祭は、宵えびすにあわせ夜は、「どんとさん」が行われ、ぜんざいが振る舞われます。

御利用者様は、しめ縄をどんと焼きに持つて行き安心して喜ばれました。(山本 裕治)



## 門司港レトロ

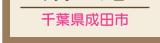


天気もいいという事で『門司港レトロ』に遊びに行ってきました。門司港レトロに到着すると運よくお猿さんの大道芸を見ることが出来ました。ご利用者様も大道芸に目を輝かせ、笑いもありつつ真剣に見学されていました。今年の干支である『お猿さん』を見て縁起もいいように見えます。

海に近いため、少し寒さも風もありましたが、とても楽しいドライブになりました。今度は門司港名物の『バナマン』と一緒に写真を撮りたいなと思う今日この頃がありました。(福間 愛)



## 鏡開きしました!



成田館でも鏡開きを行いました。真剣なまなざしで狙いを定めて「え~いい」。意外と固くて「なんだ、頑固な餅だ」と再挑戦中。「端っここのこからは簡単ね」と連打しています。ここで真打登場!「コツがあるんだよ」と手に持つてガツーーンッと開いてくれました。今年も楽しいことがいっぱいありますように。(庄司 恵美子)



## 消防訓練



消防訓練の様子をご紹介いたします。消防車が到着しました。いよいよ消防訓練が始まります。職員一同緊張しております。

1階の厨房で火事が起きたと想定します。「5階の方、避難完了しました!」と、報告しています。最後に施設長が全部の階が避難できたことを報告します。



今回の訓練がどうであったかを評価していただきました。ご入居者さまは参加されていませんが…この訓練を通して、火事の時どうすればよいか職員全員で考えることができました。消火器の使い方も教えて頂きました。

消防隊員の皆さまありがとうございます!これからもご入居者さまの安全のため日々意識して取り組んでいきたいと思います!(榎原 秀一郎)



## 花と食育の館へ出発!!!



花と食のテーマパーク花育センターへの外出の様子をお届けします。広々とした庭園に色とりどりの花たちが並んでいます。生け花でしょうか? いえ、一つ若返ってフラワーアレンジメントをみなさんでおたのしみいただきました。立派なブーケができあがりました。やはり花育のテーマは目の保養になります。癒されました!!(早川 聰)

# Message from PRESIDENT

ウチヤマグループ代表 内山 文治

## 素晴らしい 一年のスタートを



ウチヤマグループでは毎年、北九州市小倉北区の篠崎八幡神社で、仕事始めの新年祈願祭を執り行うことを習慣にしています。今年も平成二十八年一月四日に、約八十名の幹部社員が祈願祭に集まり、新年に向かう気持ちを新たにしました。今年は気候が温かく天気も良かつたので、非常に気持ちの良い祈願祭となりました。毎年のことですが、年始に祈願祭を行うことによつて、気持ちが引き締まり、力強く仕事を始めることができます。当社では、毎年この日に「昨年の反省と今年の抱負」のレポートを全員が提出することも習慣として根付いていますが、「一年の計は元旦にあり」という言葉の通り、一年の目標を明確に立てて努力していきましょう。

今年は「<sup>さる</sup>申年」です。「申」には明らか・さかんという意味があり、果実が完熟に向けて成長する段階の年だと言われています。この熟成の時期というのは、当社グループにとって、正に必要な時期だと感じています。ウチヤマホールディングスが東証一部の指定銘柄となつたのが平成二十六年九月十一日なので、一部上場企業としてすでに二年目に入り、事業の拡大は勿論、サービスの充実や内部体制の強化が求められる重要な時期になつています。介護部門のさわやか俱楽部では、以前から各大学等と進めている「産学官連携」の具体的な取り組みを全施設で実施して、サービスレベルの向上を目指すと共に、管理者の養成や新規事業の展開に力を入れていきます。飲食・カラオケ部門のボナーでは、居酒屋の海外展開を拡大していくと共に、メニュー開発強化や店長・マネジャークラスの教育に力を入れて、全体的なサービスレベルの底上げ、競合他社との差別化を目指していきます。ウチヤマグループ全体として、事業の拡大を進めながらも、各施設・店舗の運営内容、人財育成を充実し、社会貢献できる企業グループを目指していきます。北九州市は、平成二十七年十一月十五日に「高齢者の活躍や介護サービスの充実による人口減少・高

齢化社会への対応」に関する「国家戦略特区」に認定されました。「国家戦略特区」とは、国の経済活性化のために、地域限定で規制や制度を改革し、その効果を検証するために指定される特別な区域のことです。認定区では、先進的な発案が前向きに検討され、許認可も緩和されるようになります。北九州市内に本部を置く一部上場企業であり、介護部門・飲食・アミューズメント部門・住宅部門を柱とする当社の社会的責任は、今後も非常に大きなものになると考へています。

事業を拡大するにしても、運営内容を改善するにしても、優秀な人財が不可欠ですが、ありがたいことに昨年から、さわやか俱楽部もボナーも一度退職してから再度入社を希望するリターン入社の社員が増えました。特にボナーにおいては、料理長や店長といった重要な役割を担つていた即戦力の社員が何人も戻つてきて、嬉しい限りです。一度退職して他社を経験した彼らは、皆とても頑張ってくれます。他社を経験することによって、退職する前は厳しい環境だと思っていた上司や仲間の本気さや愛情を理解してくれたのだと思います。環境の変化は、視野や考え方が広がるとしても良い機会になります。

さわやか俱楽部の事業所においては、管理者の同一施設における在籍任期を基本的に二年以内とする方針をして人事異動は活性化していきます。人事異動の活性化は昨年十月から段階的に進めており、管理職の能力向上や良い取組みの共有、マンネリ化や不正の抑制、そして優秀な人財や熱意ある新人の抜擢に繋がっています。

環境の変化に限らず、大多数の方は変化することを嫌がる傾向があります。新しいことにチャレンジするには、勇気とエネルギーが必要ですが、成功者になる人は、常に変化を楽しみ、チャレンジを続けている人が圧倒的に多いのです。私は今まで、変化を恐れる余りにチャンスを逃してしまつ人を多く見てきました。成功に慣れていない人は、成功して金持ちになることを怖がってしまう傾向があるように感じます。

成功者となる人は他にも、本を多く読むことや感謝の気持ちを常に持つことなど、今まで多くの事を紹介してきました。しかし、知つていていう事と実践しているという事は全く違う事です。社員の皆さんには是非、成功者の習慣を学び、実践しながら常にチャレンジを続けて、成功体験が積み重なっていく人生を歩んで欲しいと思います。



# 百年続く 企業づくりのために

ウチヤマグループは、今年で創業四十五周年を迎えます。私が二十歳の時に父から米穀店を継いだ後、昭和四十六年に内山ビルという貸しビル業の会社を設立して以来、おかげさまで今日まで成長を続けることができました。一般的に企業の寿命は三十年という説もある中で、形を変えながらここまで発展できたことを、改めて感慨深く思います。特に、平成五年に不動産バブルが崩壊し、住宅金融専門会社（住専）の貸付先上位で新聞に社名が報道されて、今にもつぶれると噂されていたことを考えると、その後になんとか立ち直って東証一部に上場までできたことは、私にとつても上出来というより奇跡としか言いようがありません。

この四十五年の間に、事業の内容も時代に沿つて変化してきました。平成三年に始めたカラオケ事業が順調に伸びたおかげで倒産の危機を免れ、その後に立ち上げた飲食事業、介護事業が新たな柱に育つことで経営も安定化し、将来に向けた成長のビジョンも描きやすくなりました。

これまで私たちの事業を支援し、時には厳しく叱咤激励しながらその成長を見守つてくださった、内山さわやか会の取引先企業をはじめとする関係者の方々には、感謝という言葉では尽くせないほどの恩義を感じています。また、経営が苦しかった時代にも決して逃げ出すことなく、自分たちのできることに前向きに、必死に取り組んでくれた今の幹部やベテラン社員の方にも、本当に助けられました。創業から現在に至るまでの先輩社員の奮闘ぶりは、産経新聞から出版された「メイド・イン・九州」という本にも書かれているので、ぜひ読んでみてください。

先輩社員が守り育ててきたこのウチヤマグループを、この先

五十年、百年と成長させ続け、今まで以上に社会貢献を果たせる企業を作っていくためには、時代の変化をいち早く捉え、社会の期待や要求に応えられるサービスの提供や組織の体制強化を迅



速に進めていく必要があります。

昨年は大手企業においても不正や不祥事が発覚し、経営に大きな影響を与える事例がいくつかありました。投資家やお客様の信頼を裏切ることは、会社の規模の大小を問わず、事業の存続に関わるほどの大きな問題となります。日々の業務の中でコンプライアンスに反する行為がないか、本社や公的機関への報告がないがしろにされていないか、お客様にとって不利益となるような事態が放置されていないか、一人ひとりが常に意識しながら、まつすぐ誠実に仕事に取り組みましょう。

それぞれの事業、部門においては、様々な法令や業務規程に則つて仕事が進められています。最近は海外の投資家を意識して、会計基準や内部統制のルールなども大きく変化しています。自分たちの仕事に関わる法律や基本ルールを理解した上で、問題があれば小さなことでもすぐに隠さず報告し、早いうちに解決することが、会社全体を守ることにつながります。会社が成長して仲間が増え、規模が大きくなればなるほど、トップダウンによる指示伝達に加え、現場からの問題報告や業務の改善提案、お客様からの要望など、ボトムアップで本社へ迅速に伝えることが、いつそう重要なことです。

会社の未来の発展は、そのまま社員一人ひとりの未来の幸福にも繋がってきます。皆さん、安心して長く働くことができるよう、そしてウチヤマグループに入つて本当に良かったと家族の方々にも喜んでいただけるように、価値観の超一体化と基本理念の共有化を全社で進めながら、信頼される企業づくりに取り組んでいきましょう。年始にあたり、理念と哲学の手帳をぜひ読み返してみてください。



今月のオススメ

## 図書



推薦本

- 1 マザー・テレサ愛を語る  
(ジョルジュ・ゴルレ ジャン・バルビエ 編著／支倉寿子 訳)
- 2 覚悟のススメ～真田幸村の教え～(大杉学 著)
- 3 ポジティブの教科書(武田双雲 著)
- 4 ～金美齡の直言～戦後日本人の忘れもの(金美齡 著)
- 5 一流の人はなぜそこまで、コンディションにこだわるのか?(上野啓樹 侯野成敏 著)

- 6 英靈に贈る手紙  
～今こそ届けたい、家族の思い～(靖國神社 編)
- 7 「子供を殺してください」という親たち(押川剛 著)
- 8 十二支のはじまり(谷真介 著／赤坂三好 絵)
- 9 どんぶらどんぶら七福神(みきつきみ 文／柳原良平 画)
- 10 おぞうにくらべ(宮野聰子 作)

# 優しさを伝える 褥瘡ケア

じょくそう

さわやか俱楽部 社長賞受賞  
**さわやか田川館**



この度、田川館の症例発表「優しさを伝える褥瘡ケア」が社長賞をいただきました。

ご入居時のボディチェックで重度の褥瘡を発見し、ご家族様にご報告すると、ご家族様も知らなかったと言われました。病院側はご家族様に褥瘡治療のため、再入院をお勧めしましたが、病院への不信感があり、施設での対応を望まれました。各業種での話し合いの結果、田川館で褥瘡ケアを受ける事に決まりました。病院側では施設では絶対に治せないとご家族に説明されていましたが、



ご家族の総意として田川館でお願いしますと言われました。以前から重安機能訓練指導員や日高ケアマネは、施設では褥瘡を作る事は恥で、褥瘡は治せるものと言っていました。今回はその実践という事で全員の気持ちが一つになりました。



↑社長賞の賞状をお披露目する森元施設長

特別に何かを言うよりも、当たり前のことを毎日続けていく事とユマニチュードの実践がもたらした結果です。この成果により職員の介護に対する考え方も変わり、意気も上がってきました。社長賞を頂いた事で更に勉強意欲も向上し、技術力、接遇力の向上に力を入れています。最後になりますが、内山社長、田川館全員でお礼を申し上げます。

ありがとうございます。副賞は有意義に使わせて頂きます。

さわやか田川館  
施設長・森元謙一、職員一同



♥ 高松 正美さん & 幸枝さん

まだまだ未熟ではございますが仕事と家庭を両立できるよう努力して参ります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

グループホームひかり／介護リーダー・高松 正美  
さわやかパークサイド新川／ケアマネジャー・高松 幸枝  
(旧姓:前田)



♥ 三谷 健二郎さん & 智子さん

平成27年8月31日に、皆様のおかげで、入籍することができました。妻とはマラソンがきっかけで知り合い、現在も二人でよく走っています。

これからは二人で力を合わせて、明るく、幸せな家庭を作り、立花館を素晴らしい施設にするために、全力を尽くしたいと思いますので、今後とも御指導のほど宜しくお願いします。

さわやか立花館／フロアリーダー・三谷 健二郎

さわやか  
相談室

一人で悩まないで!  
あなたのお悩み  
話してみませんか?



お気軽にどんなことでもご相談下さい。お電話、メールお待ちしております!

電話番号

メール

090-9497-5764

sawayakasoudan@softbank.ne.jp